

平成29年千葉市教育委員会会議
第8回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成29年千葉市教育委員会会議第8回定例会会議録

日時 平成29年8月23日(水)

午後3時00分開会

午後4時00分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 教 育 長 磯野 和美
委 員 中野 義澄
委 員 和田 麻理
委 員 小西 朱見
委 員 千葉 雅昭
委 員 藤川 大祐

出席職員 教 育 次 長 神崎 広史 教育支援課長 福本 順
教 育 総 務 部 長 大野 和広 保健体育課長 古山 智和
学 校 教 育 部 長 伊藤 裕志 教育センター所長 根本 厚
生 涯 学 習 部 長 大崎 賢一 養護教育センター副所長 谷 直樹
中 央 図 書 館 長 小林 幹弘 生涯学習振興課長 山田 利雄
教 育 総 務 部 参 事 大橋美帆子 文化財課長 志保澤 剛
総 務 課 長 國方 俊治 総務課総括主幹 石井 進一
企 画 課 長 伊原 浩昭 総務課長補佐 大須賀隆之
教 育 職 員 課 長 武 大介 学事課長補佐 石井美代子
学 校 施 設 課 長 杉山 信弘
学 事 課 長 大井 力
教 育 指 導 課 長 中嶋のり子

書 記 総務課総務班主査 高桑 太綱 総務課主事 鈴木 理沙
総務課主事 坪山 耕太

- 1 開会
磯野教育長より開会を宣言
- 2 会議の成立
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
磯野教育長より藤川委員を指名
- 4 会期の決定
平成29年8月23日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 会議録の承認
平成29年第6回定例会会議録を全委員異議なく承認
- 7 議事の概要
 - (1) 非公開事項の決定
議案第48号及び議案第49号を非公開審議とする旨決定
 - (2) 報告事項
報告事項(1) 平成29年度千葉市中学校生徒会交流会について
中嶋教育指導課長より報告があった。
報告事項(2) 平成29年度千葉市小・中学校新教育課程説明会について
中嶋教育指導課長より報告があった。
報告事項(3) 平成29年度子ども議会について
中嶋教育指導課長より報告があった。
報告事項(4) 千葉市中央図書館・生涯学習センター入館者2000万人達成
記念セレモニー実施について
山田生涯学習振興課長より報告があった。
 - (3) 議決事項
議案第47号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点
検及び評価について
伊原企画課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決
した。
議案第48号 平成29年度補正予算について
議案第49号 指定管理者の指定について
山田生涯学習振興課長より一括説明があった後、審議。議案ごとに個別で議
決を行った結果、全委員異議なく、原案どおり可決した。

(4) 発言の要旨

報告事項(1) 平成29年度千葉市中学校生徒会交流会について

磯野教育長 教育指導課長、報告をお願いします。

中嶋教育指導課長 資料の1ページをご覧ください。「平成29年度千葉市中学校生徒会交流会について」、報告します。

去る6月28日水曜日、1年間の生徒会活動の成果と課題を共有するとともに、今後の各中学校の生徒会活動を充実・発展させるため、千葉市教育センターにおいて、千葉市中学校生徒会交流会を開催しました。

交流会には、全公立中学校の生徒会長などの生徒会役員と生徒会担当職員が参加し、活発な議論が行われました。

5の交流会の内容ですが、ワールド・カフェ1では、1年間の活動の成果と課題についてグループで話し合いました。ボランティア活動の参加者を増やすための工夫や、あいさつ運動でハイタッチを取り入れて挨拶ができるようにした取り組みなど、さまざまな実践例の情報交換がなされました。

続いて、生徒会活性化アドバイザーである、高橋亮平氏から「生徒会の先進事例と可能性」についての講演をいただきました。ヨーロッパの生徒会活動の様子が紹介され、生徒会から地域や学校にさまざまなことが発信できる可能性があるという話がありました。

休憩を挟んで、ワールド・カフェ2では、一般生徒も活動に参加するための工夫や、次期生徒会役員に伝えたいこと、生徒会活動の魅力を役員以外の生徒にどう伝えたらよいかなどについて、意見交換がなされました。また、協議の途中からは、教員も入ってグループをつくり、ともに協議を行いました。

協議終了後、5人の生徒が代表して生徒会を発展させるために、市や教育委員会にお願いしたいことを発表し、「このような交流会をもっと開いてほしい」、「ネット上で各校の取り組みを情報交換できるようにしてほしい」といった意見が出されました。今後はキャビネット上で「生徒会交流会を終えて」を公開して参ります。

以上でございます。

磯野教育長 ありがとうございました。審議に移りますけれども、質問を含め、何かございますでしょうか。

和田委員 当日参加させていただきましたが、生徒も先生も本音をぶつけ合っていて、活発な意見交換ができて非常にいい場だなと思いました。

その中で耳にしたことで、なるほどと思ったのですが、かつては子ども議会が、中学生バージョンもあったので、直接、市長とか局長とか、行政全体に自分たちからの意見を言える場があったのが、今、その場がなくなったことで、もちろん教育委員会の職員は参加していますけれども、もっと広い行政に中学生が直接訴えかける場がなくなってしまったのが、子どもたちにとって寂しいなという意見が聞かれました。

ですので、今後、もう一回子ども議会でということは難しいかもしれませんが、例えばこの生徒会交流会で子どもたちからの、生徒からの提言がある時間帯に、市長なり教育長なりにお越しただいて、そこで意見交換ができるような場が、時間が設けられるといいなと感じました。

中嶋教育指導課長 市長にもぜひ出席してほしいと依頼したところですが、今回は都合がつかないということでしたので、これからも都合がつかましたらぜひいらしていただきたいと伝えていきたいと思えます。子どもたちも非常に、それを望んでいますということでお伝えして参ります。

ありがとうございました。

和田委員 もし市長がお越しになるということでしたら、最初のほうでご挨拶を頂戴して、ということよりも、最後の提言のところでいていただいて、その提言で意見交換なり活発なことができるようにしていただけたほうがいいなと思えますので、それもあわせてご検討をお願いいたします。

磯野教育長 よろしいですか。ほかにはどうでしょうか。

小西委員 私も今回初めて参加させていただきましたが、子どもたちが学校の先生と対等に、堂々と意見交換をしている姿に非常に感心しました。

2点、意見があります。まず1点目ですが、形式的なことなのですが、子どもたちに配られる冊子に第何回目というのが書かれていなかったのも、せっかく千葉市で先進的な取り組みをしているので、回数も記載していただいたほうがいいかなと思いました。

もう一点、子どもたちの教育委員会への提言の中にもあったの

ですが、「とてもいい企画なのに、ここの単発的な企画で終わってしまうのがすごく残念だ。生徒会の役員の子どもたち、あとは教員の人たちが日常的に意見交換をできるようなツールが欲しい。」というような意見が出ていて、私も同感だと思いました。そういったことはなかなか難しいのでしょうか。

中嶋教育指導課長 ありがとうございます。この後、秋になりますと、情報交換会を区ごとにやっていきますので、今回出された、そのようなことに関しましても、そこで回答していきたいと考えています。教育センターと連携してキャビネット上で見られるようにすることも検討しているところですので、その回答も含めて、秋以降に行われる情報交換会の中で、子どもたちにその提言への回答をしていきたいと考えております。

回数のことについては、次年度はぜひ、入れさせていただきます。ありがとうございます。

磯野教育長 ほかにはよろしいですか。ありがとうございました。

報告事項(2) 平成29年度千葉市小・中学校新教育課程説明会について

磯野教育長 教育指導課長、報告をお願いします。

中嶋教育指導課長 資料の3ページをご覧ください。「平成29年度千葉市小・中学校新教育課程説明会について」、報告します。

千葉市民会館などを会場に、8月3日木曜日に小学校、8月4日金曜日に中学校の新教育課程説明会を開催いたしました。その目的は「学習指導要領の趣旨等の理解を深めるとともに、学習指導要領の円滑な実施に向けて教育課程の実施上の諸問題を研究協議し、その解明を図り、小・中・特別支援学校教育の改善及び充実に努める」ことです。

今年度は小学校950人、中学校755人、総数1,705人の教職員が参加しました。なお、小学校は毎年、会場の関係で一般総則部会以外、隔年参加としております。

全体会では、学校教育部長による主催者挨拶の後、「「生きる力」をはぐくむ教育課程の工夫・改善～子供たちの質の高い学びを目指して～」をテーマに、新学習指導要領の趣旨、充実に向けたポイント、今年度、学校で準備することについて説明しました。

続いての全体提案では、平成27、28年度の研究指定校のうち、3校からの研究成果の発表及び派遣研修「21世紀を拓く

課題研修」で学んだことをもとにした英語教育の推進についての発表を行いました。

その後、小学校では、「新学習指導要領を踏まえた外国語活動・外国語の取り組み方」について、中学校では「『千葉県学力状況調査』の結果から見えてくる課題」について説明を行いました。

午後からは各教科等の部会に分かれ、6月下旬から7月に開催された文部科学省主催の小・中学校新教育課程説明会で説明された内容の伝達や、趣旨に沿った実践研究発表等が行われました。

今後もさまざまな研修等を通して、本市学校教育のより一層の充実に努めてまいります。

以上でございます。

磯野教育長 ありがとうございます。では審議に移りますけれども、質問含め、何かご意見ございましたらお願いいたします。

中野委員 ここに、「英語に楽しく触れ」というふうにあるんですけども、実際、今、小学校での英語教育は余り混乱なく、普通にスムーズにいつているんでしょうか。どの程度のことを行っているんでしょうか。すみません、初歩的な質問で申しわけないんですけども、教えていただければと思います。

磯野教育長 来年度からと、今の状況でお願いします。

中嶋教育指導課長 今回の新教育課程以外にも、明日も全ての小学校の管理職と英語の中核教員の方を対象にどのように研修を進めていったらいいのかということで説明をすることになっております。また、先進的な取り組みをしている学校3校に、このように研修を進めていくといいということを、説明してもらうことも行います。

そのほかにも、各学校の中で中心になって英語指導に当たれるような人を育てていくということで、本年度は40名の方を対象に研修を行いました。来年度までには全ての学校に1人ずつ研修修了者がいるようになります。

今、小学校の教員で、免許の保有者は4%ということですので、非常に不安を持っている方も多いことは事実です。今後も、英語教育のスムーズな実施に向け、研修を行って参ります。

伊藤学校教育部長 現在、小学校の5、6年生は、委託事業でALTを配置して英語活動を展開しています。ネイティブの講師との関わりの中で、英語になれ親しむ活動をしていますので、英語での表現を聞く

ことだとか、英語に対する関心ですとかは、本市の子どもたちは高いと捉えています。

先ほど教育指導課長から話がありましたけれども、来年度から先行実施で、小学校3、4年生にも英語活動を位置づけていく予定ですので、そのためのALTの配置の拡充と、教員を支援するようなサポーターを雇用してサポートしていきたいと考えています。

本市の英語の関する教育は、今のところ円滑に進んでいますので、このよい状況を続けていきたいと考えます。

磯野教育長 よろしいですか。ほかにはどうでしょうか。

藤川委員 ありがとうございます。私、小学校の日の午前中の全体会に参加させていただきました。中嶋課長のすばらしいプレゼンテーションを拝聴して、いや、こんなにわかりやすく丁寧に教育委員会の方は現場の先生たちに説明をなさるんだということに感銘を受けながら、大変勉強になりました。ありがとうございます。

1つ質問なのですが、あのような、大変凝った、非常に丁寧なプレゼンテーション、反復をさせキーワードを定着させるような工夫を物すごく丁寧になさっていたんですけれども、これ、各学校の代表者が来ている研修ですよ。代表者というか、全員ではなく、それぞれの学校の中で役割がある先生方が来ている場ですよ。その場でもってしても、あそこまでの丁寧さが必要なのは昔からなのか、最近なのか。率直な感触みたいなものを伺えれば。今後、私も教員研修にかかわることが多いですし、千葉市の教員の研修のあり方を考える上でも参考になるかなと思ひまして。一言いただければ。

伊藤学校教育部長 今回の説明については、教育指導課長とも協議しました。まず参加者の年齢が非常に若くなりました。藤川先生がおっしゃっていたように、大学を卒業、大学生と同じぐらいのレベルの教員が非常に増えています。そのような中でわかりやすいということと、例えば英語については不安を何とか取り除くような形で、かなりかみ砕いた提案をしました。

今までは、もう少し内容として高いレベルの話だとか、資料もたくさん用意した中で説明してきましたけれども、今回はなるべく若い教員、大学を卒業して2年目、3年目の教員でも、教育が今後このように変わるよということがわかるような説明に

しようということで今回進めてきましたので、ここ何年かはあのような形で進めたいと考えています。

藤川委員 お疲れさまでした。ありがとうございました。

磯野教育長 そもそも、今年は学習指導要領が変わることを踏まえ、あくまでも教育委員会のほうから国の方針を伝達するという説明会となっています。これが協議会になりますので、その辺の内容もまた変わってくると思います。

ほかにはどうでしょうか。よろしいですか。

報告事項(3) 平成29年度子ども議会について

磯野教育長 教育指導課長、報告をお願いします。

中嶋教育指導課長 資料の7ページをご覧ください。「平成29年度子ども議会について」、報告します。

去る7月25日火曜日、千葉市議会本会議場にて、子ども議会を開催しました。子ども議会は、子ども目線に立った意見を市政に生かすようにする、本市の将来を担う子どもたちが千葉市の現状と課題について話し合い、市民一人一人が生き生きと幸せに暮らせるまちづくりに向けた具体的な提案・質問を行う中で、千葉市民としての意識を高められるようにすることを目的としてスタートし、今年度、8年目を迎えました。

当日は市長、両副市長、こども未来局長、教育長、教育次長を初め、千葉市議会、小松崎議長、村尾副議長、秋葉教育未来委員長、亀井教育未来副委員長の出席のもと、小学校5、6年生53人の子ども議会議員と、ファシリテーター役の中学生22人が参加しました。教育委員の皆様には、子ども議会当日のほか、学習会にも参加していただき、まことにありがとうございました。詳しい提案・質問の内容については、資料をご覧ください。

今年度は、テーマごとに7つのグループに分かれ、生活する中で日ごろから感じている課題について話し合い、アンケート調査や実地調査等をもとに、行政に積極的に取り組んでほしいことや、自分たちができること、果たすべき役割について考え、提案・質問を行いました。

子ども議会議員の提案・質問に対して、市長、副市長、教育長からわかりやすい説明と励ましの言葉が織り込まれた答弁をいただき、参加した子ども議会議員も充実感を味わえたことと思

います。

今後は、子ども議会での提案・質問及び答弁の内容と、子ども議会議員の事後の取り組みをまとめた報告書を作成し、各学校へ配付することで、子どもたちの発想と意欲を生かした主体的な取り組みを促して参ります。

以上でございます。

磯野教育長 ありがとうございます。では審議に移りますけれども、意見、質問等ありましたらお願いいたします。

藤川委員 この日は伺えなかったのですが、そのこともあって、ご質問させていただきたいのですが、せっかく子ども議会でいろいろな提案やご質問が出ていて、8ページにある程度書いていただいているんですけども、この具体的な提案・質問などについては、市民に広く公表したり等の対応はなさらないのでしょうか。私としては当然、せっかくこのような公式な場で子どもたちから出されたものですから、広く市民の方に知っていただいて、できるならば今後の市政に存分に生かしていただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

中嶋教育指導課長 ありがとうございます。まず子ども議会の様子につきましては、提案と質問内容、それから市長の講評をまとめたものを毎年、ホームページ等で掲載するとともに、リーフレットにして、子ども議会議員や学校に配っております。

藤川委員 内容は、ホームページに掲載されるのですね。

中嶋教育指導課長 そうです。

藤川委員 わかりました。そういうことであれば。

中嶋教育指導課長 ありがとうございます。

磯野教育長 よろしいですか。ほかにはどうでしょうか。

和田委員 私も当日伺わせていただきました。ありがとうございます。お疲れさまでした。傍聴が今までの中で一番多いかと思うほど傍聴者の方、たくさんお見えだったんですが、この中で保護者、ご家族、それから一般傍聴者というのが合わせて77人となっておりますけれども、ご家族以外の一般の市民の方というのはどのぐらいいらしているかはわかりますか。

中嶋教育指導課長 担当に確認して、わかりましたらお知らせします。

和田委員 周りを見渡した感じでは、やはり、ご家族の方が圧倒的に多いなとは思ったんですけども、興味のある方に、ぜひお越しいただきたいなと思うので、そのような市民の方々への周知も

これから必要になってくると思われました。よろしくお願ひします。

磯野教育長 ありがとうございます。

報告事項(4) 千葉市中央図書館・生涯学習センター入館者2000万人達成
記念セレモニー実施について

磯野教育長 教育指導課長、報告をお願いします。

山田生涯学習振興課長 資料の9ページをお願いいたします。報告事項(4)「千葉市中央図書館・生涯学習センター入館者2000万人達成記念セレモニー実施について」、報告します。

複合施設でございます、千葉市中央図書館及び生涯学習センターの入館者総数が7月22日土曜日に、平成13年の開館以来、2,000万人を達成いたしました。これを記念いたしまして、記念セレモニーを開催したものでございます。

1及び2の実施日時、会場についてですが、7月26日に生涯学習センター2階のホールにて、消防音楽隊夏休みファミリーコンサートの開催にあわせて実施をいたしました。

3の内容についてですが、市長からの入館者2,000万人達成のお礼のビデオメッセージを流したほか、教育長より入館者2,000万人目の市民に認定証、記念品、花束の贈呈が行われました。なお、この2,000万人目の入館者は、千葉市中央区にお住まいの小学3年生でございました。

当日はファンファーレの演奏など、消防音楽隊のご協力をいただき、コンサートの来場者とともに、にぎわいのある中でセレモニーを実施することができました。

資料には6として施設の開館日と過去の達成日を参考に記載させていただいております。

以上でございます。

磯野教育長 ありがとうございます。では、審議に移りますが、何か質問等ありましたらお願いいたします。

藤川委員 私も当初からよく利用させていただいていて、こうやって2,000万人という非常に多くの方が利用されてきたこと、大変ありがたく思っております。

素朴な質問なんですけれども、普段伺うときに、特に人数をカウントされている気がしないんですが、どの程度正確に、どのようにカウントされているのか。特に生涯学習センターはいろ

んな人が出入りして、余りカウントしていないのではないかなという気がしているんですけども、どういうところにやっっていくんでしょうか。

山田生涯学習振興課長 入館者のカウントにつきましては、施設の入り口にセンサーがございまして、そちらでカウントしております。

藤川委員 そうなんですか。それは同じ人が出入りすると何回も、ということもあるかもしれない。でもそんなに何回もないですかね。そうなんですかね。ありがとうございます。

磯野教育長 誰しものが疑問に思うところですけども。よろしいですか。

議案第47号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について

磯野教育長 企画課長、説明をお願いします。

伊原企画課長 「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について」、説明します。本日の教育委員会議では、概要版をもとに説明させていただきます。

まずは全体の概要についてです。教育委員会の事務点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて実施しているもので、今回の対象は、平成28年度の事務となります。なお、7月19日の委員協議会での説明から、7月21日の生涯学習審議会、7月31日の学校教育審議会での報告などを経て、報告書（案）について多少修正を加えてあります。

さて、事務点検・評価制度は、教育委員会みずからが随時適正な執行について確認するとともに、市民に対して説明責任を充実させ、市民の信頼の向上を図ることを目的としています。毎年度報告書を作成し市議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられています。

また、平成28年については、新規・拡充のあった4事業を重点的に評価しております。具体的には概要版にもありますように、学校教育分野につきましては、メディカルサポーターの派遣等とキャリア教育の推進に関すること。生涯学習分野については、放課後子ども教室の推進、図書館等の整備の2つです。

次に、教育委員会によります自己評価についてです。学校教育分野につきましては、第2次学校教育推進計画に基づき、また、生涯学習分野につきましては、第5次千葉市生涯学習推進計画に基づき、点検・評価を行っています。平成28年度はいずれ

も6年計画の初年度に該当しております。

少し厚くなりますが、報告書の6ページのところを開きますと、施策の方針と成果指標の自己評価がまとめられております。次の8ページを開いていただきますと、それぞれの事業に当たりますアクションプランの進捗状況が示されております。

それでは、概要版に戻ってください。概要版で全体に係る自己評価について説明いたします。成果指標につきましては、学校分野に係る成果指標53項目のうち、5項目で中間目標値以上となっている一方、23項目が平成27年度の数値を下回っている現状です。生涯学習分野については、現状値が確認できる5項目のうち、1項目で既に中間目標以上となっています。いずれの分野におきましても、引き続き関連する事業でありますアクションプランを推進し、まずは中間目標を達成できるように努めて参ります。

また、アクションプランにつきましては、平成28年度の学校教育分野においてはおよそ90%、生涯学習分野においてはおよそ80%がおおむね計画どおり進捗しています。各計画の初年度としては、順調な状況であると考えています。

続きまして、重点的に評価する事業についてです。①のメディカルサポーターの派遣等は、教育環境を整え、児童生徒の年齢や能力等、特性を踏まえた十分な教育支援の充実を図っています。関連する成果指標は、いずれも良好な達成状況です。教育センターによるライトポート稲毛の開設事業、養護教育センターによる教育支援計画作成の手引の活用促進や、保護者への計画的な支援などの成果であると考えております。

次に②社会ニーズに応じたキャリア教育の推進についてですが、小中高の学校関係者のみならず、地域の企業や大学、労働局等の関係者にも参加していただき、キャリア教育推進連携会議を開催して、教育委員会と経済部を中心とした既存施策の改善等について協議を行いました。アクションプランは順調に進められ、その一方で成果指標としております、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が伸び悩んでおります。わかる授業の推進や、キャリア教育の視点から、さまざまな指導を見直していく必要があると考えています。

③生涯学習分野の放課後子ども教室の推進についてですが、モデル校10校には総合コーディネーターの活動支援により、プ

プログラム、実施日数が増加しています。一方で全市112校では、地域の負担が大きいなどの理由で、1校当たりの実施日数は若干減少しております。

次に④図書館等の整備についてです。みずほハスの花図書館では、くつろぎながら読書を楽しめるスペースの設置に加え、ICT機器を活用したサービスの導入など、新たな取り組みを行う図書館として、平成29年3月に供用を開始しています。

なお、そのほか詳細につきましては報告書（案）をご覧ください。

概要版の右側には、評価委員の評価要旨を掲載してあります。学校教育分野に関する評価委員、松尾氏からの評価です。全体について、総括的な所見は、新規・拡充を問わず事業の特性に応じて円滑に実施されており、学校教育推進計画の初年度の取り組みとしては、おおむね良好な成果を得ているとされています。

また、報告書（案）の5ページにありますが、きちんと基準を設けて現状を表していること、また、若年層の教員を支えるリーダー人材を育成していること、専門家による補完支援が進んでいることなどが評価されております。ライトポート稲毛の開設や、メディカルサポーターの派遣などは、個々の児童生徒の学校生活における支援を充実させるとともに、教員の負担軽減にもつながるものであると評価をいただいています。キャリア教育の推進については、キャリア教育推進連携会議開催により、産官学の情報共有が進み、多様な支援体制での改善が進んでいると評価されています。

今後の課題としては、情報教育機器の整備・充実に関して、ICT教育の推進を図る上でも、早急な対応が望まれていること。また、教員の再配置及び増員を考えるとなどが挙げられております。

続きまして、生涯学習分野における評価委員、岩崎氏からの評価要旨です。全体についての総括的な所見としましては、生涯学習所管に係る事務の実施状況はおおむね良好になされており、高く評価できるとされています。また、本市の公共施設、千葉市中央図書館や生涯学習センター、加曽利貝塚博物館につきましても、他の自治体では実現できない施設や人材を擁し、これらの物的・人的資源を最大限に活用した上で、市民が無料、もしくは廉価で実行できる、さまざまな学習活動の場や機会が提

供されていると評価されています。あわせて、公民館など地域に根づいた施設で、市民が参加する学習活動が積極的に行われていると評価されております。平成28年度に準備を進め、今年度始まったNPO等に業務委託する放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業では、プログラムの充実、地域人材とのコーディネートなどが図られており、また、みずほハスの花図書館では、民間のノウハウや新しい発想が取り入れられているとして、責任体制が明確になっている点や、業務委託の内容が明確になっている点などが指摘され、職員の専門性との高さも相まって、委託関係を円滑にしているとされております。

今後の課題としては、行政サービスを市民にアピールすることが重要とされ、民間委託を考慮する際には、行政側に委託内容の企画、適切な内容の提示、実行させる力量が強く求められ、一定の力量、実績を持つNPOなどに積極的に市民の参加型学習事業の運営を担当させることも一考であるとされています。

概要版を通しての説明は以上でございます。

磯野教育長 ありがとうございます。では、審議に移りますけれども、質問含め、何かございましたらお願いいたします。

中野委員 この概要版の全体の教育委員会による自己評価のところにもメディカルサポーターの派遣等についてとなっているし、それから松尾委員のところでもメディカルサポーターのことは出ているんですけども、読み方が悪いんでしょうか、この全体の評価報告書の中の何ページのところにこのメディカルサポーターのことが載っているんでしょうか。

ヒアリングの資料を見ますと、大分詳しくわかるんですけども、この中で、あ、ここだというのがわからなかったんですけども。割と大きく取り上げている項目なので、評価報告書でも大きくあるのかと思ひまして、お願いします。

伊原企画課長 重点に評価する事業というのが、今年度拡充とか新規の事業なのですが、メディカルサポーターの派遣についてのみのアクションプランはありません。46ページの2が関連するアクションプランとなっています。

中野委員 そうなんです。概要版では割と大きく取り上げていますので、評価報告書の中でももう少し取り上げてもいいのかなと思ったんですけども。

伊原企画課長 わかりました。次年度の課題とします。

磯野教育長 ほかにはどうでしょうか。

和田委員 年々見やすく、わかりやすい資料をつくっていただいて、毎年、どんどん見やすくなるなど感じております。市民の方にもすごく理解が得られるのではないかなと思いました。

それから、両評価委員からも全体的に高く評価をいただいているようで安心しました。ただ、その中でも具体的な改善策なども提示していただいておりますので、ぜひ次の1年間はここを、具体的な改善策をいただいた、案をいただいた部分を集中的にお考えいただけたらなと思いました。

やはり、順調にいつているところはこのままいけば問題がないわけで、考えていかななくてはいけないのは順調にいつていない部分、それから目標を達成していない部分だと思います。その点を注目するためにさまざまな資料を事前にお配りいただいて、非常にわかりやすいもので勉強させていただいたのですが、何点か教えていただきたいことがあります。

まず1つ目は、体力・運動能力評価に関してなのですが、やはり、この数年で見ても、特に男子の数値が全国の平均値を下回っているものが多くなっている結果で、パーセンテージが非常に低くなっています。ただ、全国平均値を下回っているといっても、それが激しく下回っているか、ほんの少しだけ下回っているかによって、これ、数字が全然違ってくるかと思うんですが、実際のところの実情というのが、もしわかりましたら教えていただければなと思えます。

古山保健体育課長 28年度の結果を見ますと、確かに男子は下がっているのですが、私たちが今分析をしているところでもございます。数値で見ると、全国平均をぎりぎり下回っている種目と、大きく落ちている種目があります。男子にそのような傾向が、28年度は見られたということで、今原因等を分析していきたいと考えています。

学校の取組は、中学校では特に教科体育の中で補強運動や5分間走、トレーニングなどを取り入れて、体力向上を図っております。小学校は、例えば業間休みの中で鉄棒、縄跳び、ジョギングなどを、ほとんどの学校で取り入れています。学校として取り組んでいることは毎年同じことをしていますので、それ以外の、様々なところに原因があるのではと考えているところでもございます。

ただ、これと同じような調査で、全国体力・運動能力、運動習慣等調査という調査がございますので、そちらのデータとも照らし合わせていきながら、本当に、体力的に高い部分と落ちている部分はどこなのかをもう一回確認し、それともクロスさせていきながら、これから対策を考えていきたいと思っているところでございます。

和田委員 体が資本だと思えますので、よろしく申し上げます。しかも、現在の子どもたちは、20年、30年昔の子どもたちと比べると、そもそも体力が落ちてきている。運動能力も体力も落ちてきているわけで、その中で全国平均を下回っているということ、やはり少し心配かなと思えますので、よろしく申し上げます。あと少しあるんですけれども、よろしいでしょうか。

30ページのセーフティウォッチャーについて、これ、市全体の人数ではこのように記載をいただいております、目標に到達していないということなんですが、セーフティウォッチャーはその地域に根差して活動していただいていることだと思えますので、地域によって偏りがあるのか、とても足りていない地域があるとか、ここは十分だということで、その格差というのが結構見られていますでしょうか。それとも万遍なく、どの地域でもある程度はお引き受けいただいているような状況でしょうか。

大井学事課長 学校を通じてセーフティウォッチャーのお願いをしているところでありまして、やはり、地域、学校によって登録者数の偏りがある状況でございます。また、見守りをしてくださっている方の高齢化というような問題もありまして、後継者の育成ということにも課題があるのですが、今後も引き続き学校から協力の呼びかけをして、登録のお願いをしていきたいと考えております。

和田委員 わかりました。よろしく申し上げます。なかなか、強制的にということではないので、難しい部分があるかと思えますけれども、地域の方々のご協力をお願いしたいと思えます。

あともう一点なのですが、36ページになりますが、このアクションプランの1のところ、「トイレ改修」と「音楽室等エアコン整備」に、進捗状況に遅れがあるということなのですが、今後の見通しですとか現況ですとか、何かあれば教えていただければと思えます。

杉山学校施設課長 トイレ改修と音楽室等のエアコンについてですけれども、国費で行いますので、採択率にもかかわっているんですけれども、昨年度は当初3.3%と非常に低い採択率で、後に補正で全部ついたんですけれども、その影響で若干遅れ気味でございます。あとは予算のつき次第ということになります。計画では、トイレ改修につきましては今後10年間で洋式化を完了させたいというような計画になっておりますけれども、やはり、予算のつき次第というところでは。

和田委員 わかりました。頑張っって予算とるしかないということですね。ありがとうございました。以上です。

磯野教育長 ほかに。

小西委員 報告書の中で何点かわからない点があったので教えていただきたいのですが、まず14ページなのですが、「読書習慣のある児童生徒の割合」というところで指標が書かれているのですが、たしか昨年度の評価、報告書の中では「2週間の平均読書冊数」とか、もっと具体的な形の指標があったと思うのですが、何をもってこの「読書習慣のある」と考えるのか、具体的な内容を教えていただきたいと思います。

中嶋教育指導課長 読書の調査を行っておりますので、それをもとに評価しております。

伊原企画課長 千葉市の学力調査を行ったときに、あわせて意識調査を実施しております。その中で読書習慣がありますかという項目があります。その中に出てくる数値が、今回、成果指標の成果になっているということです。

小西委員 そうすると、人によって感覚に頼っている回答になってしまっているということですかね。自分に読書習慣があると思えば「ある」と回答する、というように。

伊原企画課長 アンケートの内容については、確認して報告したいと思います。

小西委員 あと49ページのいじめのところすけれども、これも文言の意味になりますが、「いじめ解消率」、すごく高いのですが、何をもって「解消」と考えているのかというところが気になりました。

例えば、いじめに遭って不登校になって、ライトポートに移ったり、転校になった子たちも、それも解消と見るのか、どのように解消率を把握しているのかというところを教えてください。

福本教育支援課長 いじめの解消につきましては、いじめの加害児童生徒と被害児童生徒のその後の見とりにおいて、教員がトラブルがない状況があるという確認をした段階で、解消または一定の解消というような判断しております。転校後の見取りもこの中に含まれております。

現状、そこに非常に高い数値が出ておりますけれども、文部科学省から、今後、解消については、一定の期間、3カ月間を経過観察期間として、その期間トラブルがないという状況を解消というような判断としていくことになっておりますので、現在のこの解消率は、今後、全国的に低下していくということが予想されます。今年の調査からはそのような定義になっておりますので、今までの、定義とは変わってくるということもご理解いただければと思います。

以上でございます。

小西委員 61ページなのですけれども、「生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合」が、平成28年度、ぐぐっと下がってしまっているんですが、その理由として「設問内容を変更したため」と書かれています。非常に激減しているのですが、どのように設問内容を変えられたのか、教えていただけますか。

山田生涯学習振興課長 61ページに書いてあるとおり、設問内容、少し変更したことによって、数値が大きく下がったんですが、変更前の設問は「生涯学習関連施設について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか」という質問で、選択肢がございまして、「生涯学習に関する情報提供を拡充する」という選択肢を選択しなかった割合を集計した結果、27年度末は56.4%でありました。変更後の選択肢なんですが、「千葉市の生涯学習活動に関する情報は、十分だと感じていますか」という設問に変えまして、選択肢を「はい」、「いいえ」、「わからない」という3つの選択肢を設けまして、そのうちの「はい」と答えた割合を集計した結果、この記載の19.3に下がってしまったという結果でございます。

小西委員 そうすると、28年度のほうがより現実には近い数字になっているのですね。

山田生涯学習振興課長 そうですね、直接的な設問に変えた結果です。

小西委員 わかりました。

あと、最後にもう一点、72ページの「放課後子ども教室の推

進」なんですけれども、実施日数でアクションプラン、進捗状況確認されているのですが、以前、延べ年間参加者数も把握されていたかなと思うのですが、こちらは別で数値はとっていらっしゃるのでしょうか。たしか平成27年度の評価報告書では、参加者数の推移も載っていたかなという記憶なのですが。

大橋教育総務部参事 放課後ですか。

小西委員 放課後ですね。子どもの参加者数。

大橋教育総務部参事 人数はデータ、とっています。

小西委員 それ、今年もとっていますか。

大橋教育総務部参事 とっています。

小西委員 了解です。それはどんな感じなのかというのはわかりますか。

大橋教育総務部参事 あとでまた、総合教育会議のテーマにもなっていますので、またご紹介することがあるかと。今回の事務点検評価自体は、目標値としては日数を掲げましたので、この整理になっているんですが、日数、参加者ともモデル事業にしたところは増えていますが、ほかの100校のところは平均としては下がっています。

小西委員 下がってきていますよね。わかりました。ありがとうございます。

以上です。

磯野教育長 よろしいですか。

中野委員 小西委員と同じ場所で、49ページのそのいじめのところなんですけれども、これで解消率があるということは、一定の数のいじめが実際にあると教育委員会が確認していて、それがこのような経過をとっているということなんでしょうか。いじめが実際にあるということが前提になってこの話は出てきているんでしょうか。

福本教育支援課長 いじめの件数につきましては、各学校から実際にいじめがあった件数として、毎月報告されています。各学校に対しては、積極的にいじめの認知をするようにという指導をしており、いじめの件数については、決して少なくない状況にございません。そこからどのような指導をして解消していくかということをお大切にしたいと思っておりますので、やはり解消率というのは非常に重要と捉えております。

中野委員 そういう報告で上がっているいじめの数は一応わかっているんですね。そうでないとこの解消率、数字で出すのはおかしい

ですよね。

福本教育支援課長 実数として毎年、件数として上がっております。

中野委員 それを確認した上でこれが出ているということですね。ありがとうございます。

磯野教育長 そのほか、どうでしょうか。よろしいですか。

では、ご質問もないようですので、議案第47号「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について」を、原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「はい」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり可決いたします。

以上で公開審議案件にかかわる審議が終了いたしました。委員の皆様、ここまで、その他として、何かご意見、ご質問等がございますか。よろしいですか。

議案第48号 平成29年度補正予算について

議案第49号 指定管理者の指定について

磯野教育長 議案第48号及び議案第49号については関連があるため、一括して説明を行い、審議の後、個別で議決を行うことといたします。

議案第48号「平成29年度補正予算について」及び議案第49号「指定管理者の指定について」を、生涯学習振興課長、説明をお願いします。

山田生涯学習振興課長 それでは議案第48号「平成29年度補正予算について」、ご説明いたします。

資料の14ページをお願いいたします。本議案は平成29年度補正予算について、市長に意見を申し出るため、千葉市教育委員会設置組織規則第8条第6号の規定に基づき、議決を求めるものでございます。

1の補正予算の内容についてですが、今回、指定管理者の指定に係る議案を提出する、公民館の施設管理運営に係る指定管理料について、債務負担行為を設定するもので、期間は施設の指定管理期間と同様の、平成30年度から平成34年度までの5年間、限度額は5年で65億9,423万1,000円でございます。

次に2の補正理由につきましては、平成30年度からの指定管理者の指定に伴い、指定期間が複数年度にわたり、かつ、指定管

理者に対しての委託料の支払いが確実に見込まれるため、債務負担行為を設定するものでございます。

なお、米印に参考といたしまして、根拠について平成22年12月の総務省通知の抜粋を記載させていただいております。

次に、資料の17ページをお願いいたします。議案第49号「指定管理者の指定について」、千葉市花園公民館ほか46施設についてご説明いたします。

本議案は、千葉市花園公民館ほか46施設の指定管理者に、公益財団法人千葉市教育振興財団を指定するよう、市長に意見を申し出るため、千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定に基づき、議決を求めるものでございます。

説明は参考資料でさせていただきたいと思っております。参考資料の1ページをお願いいたします。初めに、1の施設の名称及び所在地は記載のとおりで、全47公民館でございます。

次に2の、次ページの指定管理者の名称等につきましては、公益財団法人千葉市教育振興財団でございます。

3の指定期間は平成30年4月1日から平成35年3月31日までの5年間でございます。

4の選定経過につきましては、平成29年7月14日に、千葉市公民館設置管理条例の一部を改正し、非公募で指定管理者制度を導入することを決定いたしました。同日に選定要項や管理運営の基準等を教育振興財団に交付し、7月26日までを申請受付期間といたしました。8月9日に第2回教育委員会指定管理者選定評価委員会を開催し、8月18日に答申を受理いたしました。8月22日に指定管理予定候補者を決定し、同日に選定結果を教育振興財団に通知をいたしました。今後、8月下旬に指定管理予定後者と仮協定を締結する予定となっております。

5の選定理由につきましては、教育委員会指定管理者選定評価委員会において、申請内容を管理運営の基準等に照らし、審査した結果、千葉市教育振興財団は千葉市公民館の管理を適切かつ確実に行うことができるものと認められたためでございます。なお、本施設の管理運営に当たりましては、公平性、安定性が強く求められるとともに、教育の専門性を有し、生涯学習センター等の管理運営が良好で、市民に多様で専門的な講座を実施可能な公益財団法人千葉市教育振興財団が管理運営を行う必要があるため、非公募といたしました。

6の指定管理者選定評価委員会の答申の概要・審査結果につきましては、指定管理予定候補者とすべき者として、公益財団法人千葉県教育振興財団、指定管理予定候補者の選定理由につきましては、記載のとおりでございます。なお、選定評価委員からの意見といたしまして、「指定管理者は、それぞれの公民館独自の特性を理解した上で、その時々地域に合った運営をすること」、「指定管理者は、千葉市の施策や取組等を踏まえ、運営をすること」、「教育委員会は、モニタリングによる確認を行っていくこと」、「指定管理者は、効率的かつ効果的な運営を行い、公民館の管理に要する経費の縮減に努めること」の4点が挙げられております。

7の選定評価委員会の委員構成につきましては、記載のとおりでございます。

8の指定管理者の概要についてですが、こちらも記載のとおりとなっております。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

磯野教育長 ありがとうございます。では審議に移りますが、質問等含め、何かございますでしょうか。

藤川委員 ご説明ありがとうございます。参考資料の3ページの6の(2)の意見等に関してでございますが、ウで「教育委員会は、モニタリングによる確認を行っていくこと」とあります。これは具体的に教育委員会としてどういうことをやることになるのでしょうか。

山田生涯学習振興課長 月次報告という形で指定管理者から毎月、報告書が上がってきまして、そちらの審査とあわせまして、現地調査ということで、各47公民館を回りまして、指定管理者の運営状況について確認を行っていく予定でございます。

藤川委員 それは職員の方が回られるということで。

山田生涯学習振興課長 はい。生涯学習振興課の職員が行います。

藤川委員 わかりました。ありがとうございます。

磯野教育長 よろしいですか。ほかによろしいでしょうか。

では、ご質問がないようですので、議案第48号「平成29年度補正予算について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「はい」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり可決いたします。

次に議案第49号「指定管理者の指定について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「はい」という声あり)

磯野教育長　ご異議ないようですので、原案どおり可決といたします。

8 その他

(1) 第9回定例会は、事務局において日程を調整の上、開催日時を決定することとした。

9 閉会

磯野教育長より閉会を宣言

千葉市教育委員会会議規則第26条により署名する。

平成29年 月 日

教 育 委 員

総務課総務班主査
